

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

フェアトレードを推進し、まちぐるみで応援、実行していくための様々な取り組みを通して、貧困、環境問題など世界の様々な問題・課題を市民の力で解決することを目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
◎環境 ◎社会 ◎経済	原料の生産から、輸出入、加工、製造全ての工程で、差別や児童労働の禁止、土壌・水源・生物多様性の保全等、国際フェアトレード基準が守られている商品の利用普及に努めている。	熊本市内のフェアトレード取扱店の一覧表を作り、そうして確認できた店舗数を2倍に増やす。(2019年98店舗→2023年200店舗) フェアトレードに関するミュージアム&ショップを開設する。
◎環境 ◎社会 ◎経済	様々なステークホルダーと連携してフェアトレード推進に取り組む。	月に一度、市内各地のお寺でフェアトレードをテーマとしたワークショップを行う。その他イベントにも積極的に参加する。
◎環境 ◎社会 ◎経済	海洋プラスチック削減に向けたバイオプラスチックを原料とするタンブラー及びアグロフォレストリーで栽培されたコーヒ等、生物多様性を守るための環境にやさしい商品の普及促進に取り組んでいる。	タンブラーを300人以上に普及させる。一人につき3回以上使ってもらうような機会を創出する。

<パートナーシップ>

行政(熊本県、熊本市)、議会(熊本市議会)、県内外各地の学校、企業、市民団体、市民等と連携し、まちぐるみでフェアトレードを応援、実行する。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。